

1 学級PTAや家庭教育学級などで使ってみませんか？

家庭教育に関する世代別学習プログラム

↓プログラムワークシートの例

学習対象	テーマ一覧
乳幼児期	あなたの子育て応援します ～がんばるパパ・ママへ～ 寝る子は育つ？ ～早寝で作る生活リズム～
	「ほめ方」「叱り方」の極意とは？ ～子どもの個性理解～ 「思いやりのある子に育てほしい!!」 ～親がすべきことは？～
小学生期	これで我が子もお手伝い名人 ～二コ二コお手伝い作戦～ 心と体と頭の元気のもと!! ～早寝早起き朝ごはん～
	かわいい子には体験を! ～人生の基礎となる体験活動のススメ～
中高生期	さました！反抗期 ～コミュニケーションの取り方～ ケータイ・スマホを与えるとき ～子どもを守るために～ 中高生は睡眠不足？ ～中高生の生活習慣を考える～
	「大人なの?」「子どもなの?」 ～大人になり始めた我が子へ～
シニア世代	パパ・ママ応援団になろう! ～時代の変化に対応した 家庭教育支援とは?～ 近頃の子どもは… ～現代の子どもの特徴と接し方～

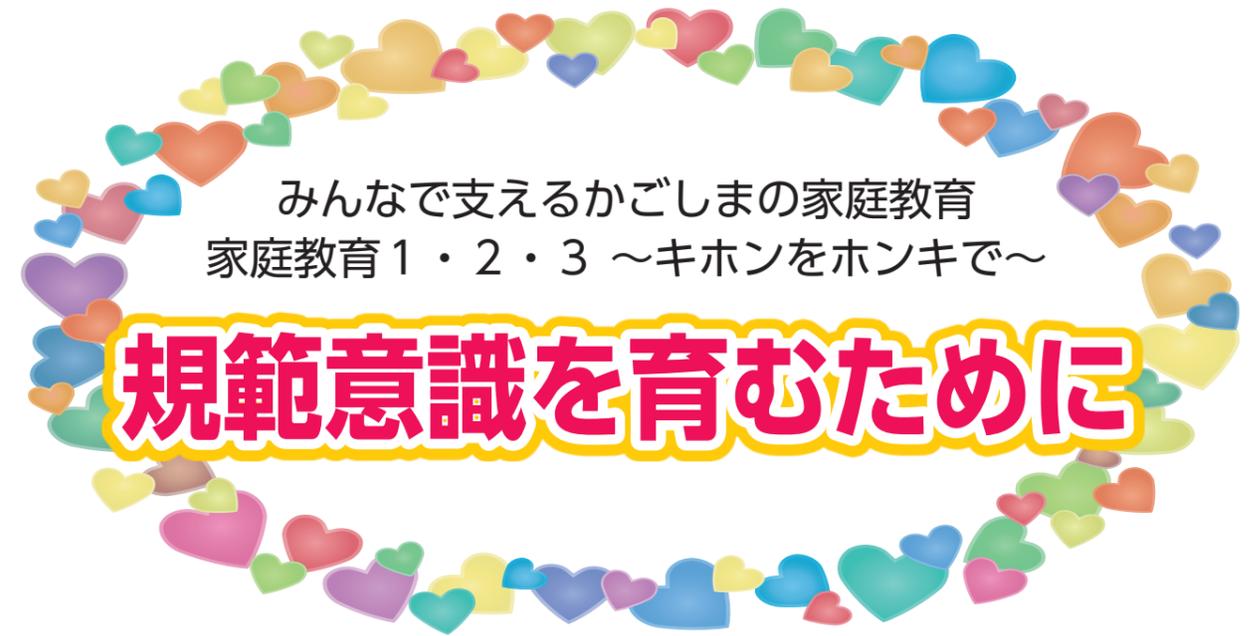


プログラムワークシートのほか、展開例なども、
県のホームページからダウンロードできます。

鹿児島県 家庭の教育力の向上 検索



※学習対象は、一つの目安です。



2 県の主な相談機関を紹介します。

- 「家庭教育やしつけ」について
 - ・PTAすくすくライン……………☎ 099-251-0309 (月～金 9:00～17:00)
- 「学校のこと」, 「いじめ・不登校」について
 - ・24時間子どもSOSダイヤル……………☎ 0120-0-78310 (24時間いつでも対応)
 - ・かごしま教育ホットライン24……………☎ 0120-783-574 (24時間いつでも対応)
- 「不登校・ひきこもり等」について
 - ・かごしま子ども・若者相談センター……………☎ 099-257-8230 (電話) 火～日 10:00～17:00
- 「障害や学習・行動面のつまずきに関すること」について
 - ・県総合教育センター特別支援教育研修課……………☎ 099-294-2820 (来所及び電話) 月～金 8:30～17:00
 - ・県発達障害者支援センター……………☎ 099-264-3720 (電話) 月～金 8:30～17:00 (土, 日, 祝日休み), (来所) 電話での予約が必要
- 「養育上の悩みや非行・虐待など児童の福祉」について
 - ・県中央児童相談所……………☎ 099-264-3003 (月～金 8:30～17:15)
 - ・県大隅児童相談所……………☎ 0994-43-7011 (月～金 8:30～17:15)
 - ・県大島児童相談所……………☎ 0997-53-6070 (月～金 8:30～17:15)
 - ・子ども・家庭110番……………☎ 099-275-4152 (月～金 9:00～22:00)
- 「子どもの非行などの問題行動」について
 - ・県警少年サポートセンター……………☎ 099-252-7867 (月～金 8:30～17:15)

私の家の合い言葉『一日一笑』
毎日笑顔で楽しいおうち
どんな時でも笑顔が一番!



平成28年度鹿児島県PTA連合会
「たのしい子育てコンクール(三行詩)」受賞作品
指宿市立山川中学校 1年 川畑 陽菜さん

3 県教育庁社会教育課公式 Facebook を開設しています。

青少年社会教育施設や図書館などの楽しい催しや家庭教育, 読書活動, 体験活動に関する情報など, ためになる情報をお届けしています。



家庭は教育の原点であり、家庭教育はすべての教育の出発点です

～子どもが家で身に付けたことは生涯ずっと生き続けます～

ルールを守る

マナーを身に付ける

モラルを育む

その
1

子どもとの会話を大切にしよう！

話せばわかるとは限らないが、話さなければもつとわからない

子どもは家族との会話から、周囲の人に大切にされている、支えられている、認められているという実感を持ち、これが規範意識を高める土台にもなります。食事や家事を一緒にする中で、その日にあったことを話したりして、子どもとの会話を増やし、子どもの気持ちを丸ごと受け止めましょう。



その
2

我が家の約束事やルールを作ろう！

ルールってだれのためにあるんだろう

子どもは、家庭での約束事やルールを守ったり破ったりしながら、社会のルールの大切さを学んでいきます。

家庭内でよく話し合っ一貫性のあるルールをつくり、親子で守っていく中で、子どもたちにルールがなぜ必要なのかを実感させましょう。



その
3

間違っった行いはしっかり叱ろう！

厳しく叱られたけど今ではそれに感謝しています

子どもは、初めに家庭の中でしてよいこと、してはいけないことを学んでいきます。正しいしつけは子どもへの大切な贈り物です。

間違っった行いには、何がいけないか理由をきちんと伝え、愛情をもって本気で叱り、逆に良い行いには心からほめる言葉をかけてあげましょう。



その
4

子どもに我慢を覚えさせよう！

子どもの要求をすべて受け入れることが親のやさしさとは限らない

安易にモノを買い与え過ぎると、子どもは努力したり、我慢したり、工夫しなくなり、自分の気持ちを抑えられなくなります。我慢させることは、子どもが自分の気持ちを振り返り、社会の仕組みを考えていくきっかけにもつながります。欲しいと言ったら、なぜそれが必要なのか親子でよく話し合ってみましょう。



その
5

子どもに命の大切さを実感させよう！

みんなそれぞれが世界でたった一つの命なんだ

身近な人の死を目の当たりにすることが少なくなったり、ゲームなどで虚構の死に慣れたりして、命の重さやかけがえのなさを感じにくくなっています。

自然の中で遊ばせたり、動物や草花を育てたりするなど、さまざまな機会を意識的に用意し、子どもに命の尊さや大切さを実感させましょう。



その
6

子どもに夢や希望を語らせ、励まそう！

夢は人を育てる 夢をもつと人は強くなる

人は夢や希望をもつことで、困難なことにも前向きに立ち向かおうとしたり、甘い誘惑に惑わされずに前に進もうとしたりするものです。

子どもは子どもなりに夢や希望をもっています。どんなに小さなことでも、親の思いと合わないものでも、その夢や希望を語らせ、励ましていきましょう。



その
7

社会性を身につけさせよう！

だれも一人だけでは生きられない

子どもはさまざまな年代の人と一緒に活動する中で、違う考え方や価値観に出会い、我慢したり譲ったり交渉したりしながら、社会性を身につけていきます。

親子で、地域活動やボランティア活動等にできるだけ参加する機会をつくり、子どもに「自分は社会の一員だ」という意識をもたせましょう。



その
8

よりよい社会をつくろうとする姿を見せよう！

あなたの生き方が子どもへの最高の教育になる

これからの社会には、問題を解決するために自分で考え、工夫し、行動する人が求められており、そのためにも自律的な規範意識を育む必要があります。

子どもが社会のできごとに関心をもち、かかわろうとする気持ちをもてるように、親自身が自らよりよい社会をつくろうとする姿を子どもに見せましょう。

